

合併から8年がたちました。
日本もわたしたちの北広島町も どんどん かわっています。
これから社協は なにをどうするのか？
これは 社協がはじめる 5つの物語です

1 社協でなければ！

残念ながら
お金と職員には限りがあります。
社協でなければできないこと。
その重みをしっかりと受け止め
住み慣れた地域で自分らしく暮らすためには
社協として何ができるか
しっかりと考え行動します。

2 かがやけ 4つの個性！

「芸北」「大朝」「千代田」「豊平」
合併前の4つの町にはそれぞれ個性がありました。
そのちがいを生かし、いいところをもっとのばして
4つの個性が キラリと輝く町にしていきましょう。

旧4町がおなじことを
しなくてもいいんです！！

あなたの地域で、あなたらしく
暮らすために
一番必要なことをすすめます。

舞台は 北広島町
脚本は『住み慣れた地域で暮らそう』
主役は わたしたち
ひとりひとりです

3 つくろう！ 新しいお互いさま

『昼間に若い人をみかけない…』
多くの地域の共通の姿です。 こんな状況だからこそ

新しいお互いさまのあり方 を
一緒に 探してみませんか？

『ちょっと手を貸してくれん？』 『そんならなら、ゆうてえや』
あるときは『支えてもらう』 あるときは『支えてあげる』
そんな、お互いに『助けたり助けられたり』できる
地域づくりのため、地域に出向いてお手伝いをします。

4 本所⇄支所 連携プレー強化！

『支所になって社協が遠くなった』と言われる。
本所と支所との 連絡がスムーズ になるよう
連絡機器の導入や 職員の研修により
その場で用件がすむよう努力します。
どの地域の方が、どの支所や本所へ
来所されても、あなたの
『よろず相談所』としてがんばります。

5 応援される 社協へ！

安定した運営をするためには
さまざまな財源の確保が必要です。
そのために 社協の活動に賛同
していただける方が増えるよう努力します。
活動や行事を積極的にお知らせし
住民のみなさまにとって
より身近な社協をめざします。

